

# ハらハ通信

NO.50

87. 2. 28

¥100(カンパ)



発行 ニジの会  
東アジア反日武装戦線への  
死刑・重刑攻撃を許さない！  
支援連ニュース読者の会  
〒堺市新金岡町2ノ2ノ1-307

判決まで

やれるんでは…



▼一月30日、ツッキ集会を終えるや虹の

隊団は、多勢の人に見送られて大阪を出発。東京では3日分論当日さんぜんハデに祝いかまし、疲れくたびれ果てての帰阪。ひきつづいて、これほど寝る間もなしの「スタディオ・デルタ作戦」。あ、というまにはやむを得。2・3の詳細を東京に行けなかつた人たちが、氣にとめて下さつてた方々にお知らせへたしかつたといえ、速報としてハガキ一枚でもしくくべきや、たと今になつて反省しています。

▼さて2月20日、このかんのめまぐるしい行動の感想など話しながら、判決へ向けてやれること、この春何ができるか等、アイデアを出しあつていく定例会をやつた。集まつたのは、数人の若い新しい人も含めて20人。みんな軽く感想ならしめべるものの、何ができるかーといふことになるとどうも口ごもつてしまつて、なかなか

★「支援連ニュース紙代」「カンパ」は、振替で大阪7・310316(ニジの会)までお願いします。

か何も出てこなかつた。最高数は、東ア?の判決を早度内に持ちこもうとしていたこと、分論要旨提出を争つ団がなんとか引き延ばしていること等が報告されると、状況は緊迫しきつていふことがいやがうえにも伝わり、こくるし、今何かしなければ…という気持ちだけは昂ぶるばかりだ。かといつて、個別にできる小士はこつ抗議ハガキ・友人、知人への呼びかけ等はすぐ済むとしても、短期間に大きな効果のあることを何かひとつのニジの会で行なうとなると、すべには考えつかない。ここで大まかに二つの意見が出された。ひとつは、判決当日出来るだけ多くの人でもう一度最高裁へーひとつは、それよりは当日関西で集る抗議行動を考えたい。

▼会も終ろうとした時、とにかく判決に關係はく4・2に集会をやることが決まり、皆もようやく先が見えてきたみただった。

▼さて、関西在住のみなさん、そして全国の反日支援者のみなさん、こんどはこつてしまつてはいられない。氣をひきしめ直して、熱い意を共に、彼らと繋がるまで、手に振きまわしよ。

# アフリカと日本人

by じい

1月23日「日本的差別と偏見」わたしたちはアジア・アフリカの人々を理解できるだろうか」という話をきいたとてもいい話だった。久しぶりにニジの会へ出かける気になったのは、話をするのが田川建三さんだったからで、太融等につくと、もういっばいの人だった。

話は「日本人が第三世界の人々を〇〇族とよぶこと」についてだった。エッ、何のことか？ たとえば、アフリカに「ズールウ」という人たちがいるんだけど、私たち日本人は「ズールウ人」とはいわずに「ズールウ族」とよんでしまう。人間をよぶのに「族」はないですよ、と田川さんは本気で怒る。第一、このよび方はヨーロッパの人たちには決して使わないのに、アジア・アフリカの人に対しては平気で使っている。つまり、〇〇族という時、そこには必ず軽べつ、侮べつ、未開のものたちといった意識がある。「族」をやめて「〇〇人」といわない限り、私たちは彼らと対等にはつきあえないんです、とキッパリいう田川さんの言葉は、私の胸にびんびんびびき、話にひきこまれていった。今まで考えたこともなかったことだし、それに実際

にアフリカで暮し仕事をしていた体験にもとづいての話には、とても話得力があつた。

〇〇人を「〇〇族」と侮べつする意識、というのは、ウラ返せば「私らは日本人や、おまえら未開のものとはちがうんだ」って意識でしょ。じゃあその「日本人」って何なのか。日本という「国」に属するから「日本人」。そんな日本人を力けにきて、第三世界の人たちを見下すこととしか彼らとつきあえないのなら、まず「私らは日本人なんやで」という意識を否定してみよう、と。

〇〇族という限り、「日本人」という高みにいる限り、「いしてあげる」図式はなくならん。アジア・アフリカの人々は、決して「野蛮ゆえの貧しい国の人々」ではなく日本を含む外国資本の介入とそれを受け入れる自国政府による「つくられた貧困」と必死で戦っている人たちなんだ。政治的、経済的、社会的あらゆる抑圧をうけながらも、私たちと同じように同じ時代を生きぬいている人たちなんだと認識しない限り、アジアとの連帯、アフリカを救え、は結局「貧しくかわいそつな人々に手をさしのべるエライ日本人」を意識するにとどまり、いつまでたっても互いに理解しあふことはないだらう。

まず「〇〇族」というのをやめて「〇〇(4Pへつづく)



人」といふこと、そこからアジア・アフリカの人たちと対等につきあっている、という具体的な話で、大切なことを田川さんは教えてくれた。

# 2.3

## 全国の仲間たちが、最高裁前へ集まった！

——ニジの会を批判する？！——

こ人には、多々ニジの会のデモ初めて目にして感動しました。宮城のも、良かったですよ。

「テンノウ、ナカソネ、~~~~」と忘れました「テンノウナクテモ、インデネスカー」等々、ぼくは、宮城の人たちの後ろにいて真似してました。

ところで、今、ニジの会を批判したいと思います。あのハデな衣装、しばらくして、「ああ、ニジの色だな」と思いました。赤、だい、黄、緑、青、あい、紫、でも、ピンクなんてありませんよ。虹を見たことないんじゃないかと、……このニジじゃないのかなあ？ とにかくピンクは、やめるべき……でもないかな。どうでもいいですね。

本当なら皇居で日の丸振る前に、「なっ、君誰やねん？」とキレることが大切なんじゃないかなと思います。

宗教を信じてても何を信じてても、けっ、きまぐれ、自分や自分達は何を信じたかといふことからはじめよう、今はそれでいいと思います。

●虹の友団の呼びかけで来た

●虹の旅団から

★特別企画「ふたば」2.3

関東のMさんより

さて次に、以前、ぼくは寿生活館で反日タコヤキ団をみあす時の、主婦の若い男性も印象に残って、デモの先頭で旗持ちしてたでしょう。あの人、持ち場を離れて、

警官に投げつけて遊んでましたヨ。ヒョッと見たら、あの人だったんです。(糾弾すべきデス!!) ぼくは「ワッスルイ!!」と思いました。そして、どさどさまぎれに、ちれはい人だなあと、ぼくは悟りました。で、しばらくして、ぼくはドサクサまぎれに仲間と仲間のほんの少しのすき間から、



▼金谷利広 / 武蔵野市中町2の4の10の3 (調査官)

2月24日 大阪高裁 裁判長 裁判員 事件判決

▼スライ防止法、GMP、中絶の権利

2月24日大阪高裁 赤松絵筆事件判決

御名御璽国賠訴訟逆転敗訴!!

▼スパイ防止法、GDPパーセント増徴、その他きまぐれな政策の世の中。このままでは、エーッ!! なんとやの人な。!?と言いたくなるほどの反動判決。もうはたし、かまへんな。▼国・府の意見・全面採用や...

警官の足を軽く蹴った人です。そしたら、なんと、ドサクサまぎれにならずに、見つかって、その警官、ぼくに向かって来たんです。ぼくは、「ヤバイ」と思って、逃げました。ぼくは、絶対にドサクサまぎれだからわからないだろうと思って、やったんですが。

あれは、ヘタをすると、ヒトに迷惑かける結果になったかもしれないので、いけないなあと後で、反省しましたよ。

それでぼくは、そこにいるのマジイと思って、前の方へ行きニジの会を見ながら歩道歩いた人です。そこで改めて感動という大げさですが、ニジの会のデモを見て良かったと思いました。(又い転じて福となす!!)

声は聞こえないので、ちがつかもせませんが、警官が



A.V. さわってもいないのに「あ、胸さわった」なんて、言ってる人がいました。

A. ぼくは、ウソをつくのには悪いことだと思います。それじゃあ、検事のウソと同じじゃないか、なんて。そしてエニ罪事件です。

それから、あの人、旗持

ちながら、タバコ吸ってました。東京の空気がますます汚れるんじゃないかと、ぼくは思います。(コレハ ウソ!!)そして、しばらくして、ヒョッと見ると、あの人とちがう人が、旗を持ってました。うん? 休憩時間か? また、なんかワルサをしに行ってるな、なんて思いました。

教訓

(人の真似をすると、失敗する)

でも、ぼくは言いたい。あの人、ぼくに行動でもって、教えたんだ。

「ドサクサまぎれにやってみな!!」と、ぼくは教えられたとおりにやった。

で一步まちがえると、ぼくの教師生命は断たれることになった。

そんなことになったら、大損だ。そして、思っただろう。あの人がいけないんだ!!と。

でも、まあ、不幸な結果にならずによかったです。あと、これが風子さんかなあ? (物みたいに言って、スイマセン)と思いました。

では、又、お元気で。

スタジオ

# デルタ作戦 大盛況!!

3/6~2/14

▼ スタジオ、デルタ作戦は大盛況のうち、その勢を頷いた。当初の「ままスタツフだけ」のんびりとお茶でも飲みながらビデオ見てたらエエも」といっ

はなりで、と映画の大看板と並びで「NO HANGING 彼らを殺すな!!」の横断幕も。通勤マッシュのひと時にきくと事件をもたらしたいとぞよ。

▼ 朝日と毎日の地方版にも紹介された。Kさんはこの記事(毎日)を見て、「まず、荒井まり子さん…とさん付けであること」「まりさん」の原画の温か

を切に訴えようとして「の」の二点を評価した。うん。▼ 予ねこ〜30冊、その他合計200冊が売れた。本当に有難う。本

い期待はみごとに裏切られ、のべ30人が昼夜訪れては去っていく中、控室にレジに大忙し。▼ スペース側の御好意で朝間を貸して下さり、ご迷惑もありませんでした。▼ 丁度、ビルの側壁が阪急電車の高架と回って、バスが泳ぎ

## 人生の味付け ござ

「猿は猿を殺さない」…猿の惑星



豪華なタッチの絵に魅せられた後、その前から知られる「黙ってこんなのかあ」というような疑問から、他に展示されている東ア関係の本やパンフレットに手が行く。もう少し反日について知りたいと思う人には虹の金の集金の記録ビデオもあるし、ホンコンTV編纂の日本侵略についての「血源検証」、「輝く日本」などの上巻もリクエストに応じて渡してくれる。私が行った時はレゲエ・ライブが流れていたり、虹の金のメンバーが何気なくお茶を飲みながら、口頭弁論についてしゃべっていたりと、何もかもが日常的な流れの中の一つとして在った。毎日20〜30人の人々がこのイベントを見に、何気なく前を通りかかって…というきっかけで訪れては去っていく。7日は「沖縄・石垣島からみた日本」、9日は「女の眼からみた日本・ジャパユキさんと私たち」、11日は「死刑廃止にむけての座談会」等のスライド上映と話もあり、違いようですぐ身近にある色々な問題が、「早く何とかしてくれよ」と訴えかけてきていた。尚、西宮北口の書店&喫茶しおさいでも2月来迄開催中。(林芳裕美)

2月6日から2月14日まで梅田のスタジオデルタで行われていた「絵と本と映像で語る反日自由区(フリーク)1週間」に行ってきた。総合プロデュースは、東アジア反日武装闘争への死刑・重刑功罪を許さない「虹の金」。

「反日」とか、「死刑反対」とか聞くと、何かとつももない団体が、非日常的なところで動いているようなイメージを想像してしまいうるんですけど、実際にこのスペースに足を踏み入れると、とってもごやか〜なお茶の間の雰囲気ですてえくれた。特に歌中で、ホールペン1本で描いたという荒井まり子さんの原画の猿々が、訪れる人々の気持ちをなごませる。子供の頃の悪い出の風景や、生活の規制された獄中での虫や動物達とのふれ合いという、素朴で

## 死刑廃止運動 とともに

▼ 一貫余りに死刑廃止連続講座が再購されるというので出かけようかと思っ

ている。会の名称も、かたつむりの会と新しくなっている。第一回めは鶴見後輪さんと水田ふくさん。鶴見さんがどんな話を聞くのが、しみだ。ス・三口頭弁論以降、ますます死刑廃止運動との関わりを深めなアカンと実感する(4/11の頃。

みなさんも、ぜひお立ち寄りください。来週おね。

3月6日(金)16時半  
大阪府立中央会館  
大坂市東区中津3分

環状線の駅(西3分)  
公園正面のこ  
¥300



